

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 13 日 (18:00~19:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	11 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・初回の情報に関してはあくまで基本的な情報と捉え、実際に関わった際に詳細な部分を追記していく必要があるという事を、職員全員が理解する。 ・関わった人が各自情報に赤ペンでプラスし、対応マニュアルの内容を深めるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	共有する方法を手書きから PC 入力に変えたことによって利用開始からの変更点も共有しやすくなったが、PC 入力する人が限られていたこともあり、詳細な内容が抜けていることもあった。口頭での申し送りは情報共有にはならなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2 人	11 人	0 人	0 人	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4 人	9 人	0 人	0 人	13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3 人	9 人	1 人	0 人	13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	9 人	1 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初回利用時の関わりシートに項目ごと状況を記載していたが、分かりづらいことや、二度手間になってしまう観点からパソコン入力に一本化した。初回利用時の様子を支援内容項目別にケース入力し、利用日 (1 回目、2 回目、3 回目) ごと印刷することに変更し共有しやすくなった。追加内容もその都度入力するようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
口頭での申し送りになってしまうことがある。 追加内容や詳細が入力されていないこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
初回、2 回目、3 回目の入力責任者 (確認者) を決め、情報の抜けがないか確認し、抜けていた場合は担当した職員に声かけし入力してもらう。記録したものは印刷し、各自確認した上で業務に入る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 13 日 (18:00~19:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	9 人	0 人	0 人	13 人
前回の改善計画		・本人との関りを増やし情報を取るが、家族や近所の方にも本人の今までの生活の情報を収集し、本人の生活が充実するよう支援していく。				
前回の改善計画に対する取組み結果		本人と関わり、希望を聞けた方には対応できていたが、自分からの発信が難しい方については対応できなかった。事業所内でできる「～したい」の実現にもっと取り組む必要があった。				

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	0 人	9 人	4 人	0 人	13 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1 人	9 人	3 人	0 人	13 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2 人	9 人	2 人	0 人	13 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	4 人	5 人	4 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
お墓参り、花見、千手堂参拝、外食、買い物など、本人が行きたいところへの外出は、個別支援や外出レクなどで対応できている。また、食べたいものに関しても聞き出し誕生会などを通し食べられるように支援している。 一時帰宅も家族の要望とすりあわせながら出来る範囲で行えている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
特定の利用者しか個別支援を行えなかった。 家族や近所の方からの情報収集という点では、まだ不足している	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
「～したい」の実現について、一人ひとりに関わる強化月間を設け、情報を集め年間で振り分けし、実現につなげていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月13日(18:00~19:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	11人	0人	0人	13人

前回の改善計画	・できる所出来ない所の能力を評価し、一人一人の持っている能力を維持できるよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	3ヶ月に1回のモニタリングや毎月のユニット会議で一人ひとりの能力を評価し必要な支援を行った。本人は出来る能力はあったが時間が掛かりすぎてしまうことから必要以上に手伝ってしまうことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	2人	4人	6人	0人	13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	5人	7人	1人	0人	13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2人	9人	2人	0人	13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4人	8人	1人	0人	13人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3人	10人	0人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ユニット会議等や日々の申し送りを通して現状を把握し、一人一人の能力に合わせて支援している。 3か月に1回モニタリングを行い、情報を共有し共通認識のもと支援できるようにしている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らし方の把握やそれを活かした支援につなげることは、まだ足りていない。 出来ること、出来ないこと、出来るけどやりたくないことの見極めが難しい時があり、過剰な支援になってしまうことがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 在宅生活を支えるという視点を持って本人の能力を維持できるように支援することを心掛ける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月14日(18:00~19:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	1人	0人	13人

前回の改善計画	・家族や地域との情報共有をしっかりと行い、家族との良好な関係を支援する。 ・地域の情報を収集し必要な支援に繋げていく。 ・馴染みの場所への訪問は継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族や地域との良好な関係性づくりに関しては意識しながら支援することができた。 以前から利用している馴染みの場所への外出支援も積極的に行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2人	9人	2人	0人	13人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4人	8人	1人	0	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1人	10人	2人	0人	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3人	6人	4人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎や訪問の際に情報収集を意識し行い、ご家族との何気ない会話や様子の聞き取り等を大切にしている。 また、近所の方より情報などあった際はご家族にも伝え現状を共有している。 地域や近所の方とお会いした際は気持ちの良い挨拶を心掛け、地域とのつながり関係性づくりも行った。 近所の方の協力を得ながらゴミ捨て支援や安否確認を行えている。灯油配達サービス、ごみ回収など地域資源を活用できている。 馴染みのスーパーや美容室に行くことができるように支援している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員の方や、地域資源が把握できない。 特に独居の方の生活の把握が難しく、もう少し踏み込んだ理解が必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域で暮らしやすくするために、職員一人ひとりが地域の資源について学習する。その方に必要な地域資源を提案し結びつけるように支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年11月14日(18:00~19:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	9人	1人	0人	13人

前回の改善計画	・小規模多機能らしい臨機応変(柔軟)なサービスをいつでも提供できるように、職員一人ひとりのスキルアップに努める
前回の改善計画に対する取組み結果	臨機応変な対応は出来ているが、細かな対応の情報共有についてはまだ不足していた。手順書の見直しについてもこまめに取り組む必要があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3人	7人	3人	0人	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6人	7人	0人	0人	13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3人	10人	0人	0人	13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6人	7人	0人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の状況に合わせてその日、その場で臨機応変にサービス提供できている。 急な利用変更に関しても管理者に相談し、できるだけ利用者、家族の希望そえるように対応している。 近所の方の協力も得ながら、朝のごみ捨て支援を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員一人一人のスキルアップについては、各々の状況、経験にあわせて研修等行っているが、対応方法などについては改善が必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
臨機応変(柔軟)な対応について職員全員が標準的に対応できるよう、手順書の見直しと変更点の情報共有を強化していく。	

6. 連携・協働

メンバー

13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画

ケース記録の確認は継続し、重要な変更点や業務予定等は、当日の業務予定に付箋で表記し抜けのないようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

ケース記録の方法を変更する事により皆が情報を共有しやすくなった。ただ、急な変更が出た時に予定変更したが、誰がやるかまでの細かな指示が出来ていなかったため、混乱する事があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3 人	2 人	3 人	5 人	13 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1 人	2 人	3 人	7 人	13 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3 人	3 人	2 人	5 人	13 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2 人	6 人	2 人	3 人	13 人

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ケース記録の確認は意識的にできている。ケアの変更箇所についてはケース記録に「ケアの変更」と入れることにより、分かりやすく工夫した。

業務の抜けがないように、予定に記載したり付箋にメモを残し貼ったりし対応できた。
フリーに書くことができる申し送り用紙を活用し、当日の予定などを分かりやすくしている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

職員同士の声掛け (チェックの確認や誘導等) が少ない。

業務予定に付箋で表記していても、誰がいつ対応するかなど明記がないと抜けることがあった。
自治体や包括支援センター等の会議に参加できていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

ケース記録の確認や変更点に関しても分かりやすくしていく事を継続する。
急な変更点や義業務の抜けがないように、その日の業務を確認する職員を決める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 18 日 (18:00~19:00)
7. 運営	メンバー	13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・ユニット会議の中で、利用者、家族の意向、職員からの現状を情報共有しながら、本人に必要なケアを行えるよう情報共有していく。 ・会議に参加出来ない人には申し送りで確実に情報を伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	ユニット会議で意見を出し合い色々な改善を行うことによって、ユニット運営が上手く行くようになってきた。会議内決まったことを職員内で周知するまでに時間がかかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1 人	9 人	2 人	1 人	13 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4 人	8 人	1 人	0 人	13 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	4 人	7 人	2 人	0 人	13 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	3 人	8 人	2 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ユニット会議内での情報共有は各々意見を出し合いながら行えている。 モニタリングで話し合ったこと、検討事項も含め次第に記載することで、情報を共有しやすくなった。 会議申し送りノートも活用している。会議に出席できなかった職員に優先すべき事項は口頭で申し送りするようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会議不参加者には口頭でも伝えるようにしているが、申し送りが不十分。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ユニット職員の意見を活発に出し合い、より良い運営を行えるように取り組む。 情報共有のシステムづくりを行い全職員が情報をタイムリーに伝わるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 18 日 (18 : 00～19 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・内部、外部研修への参加を積極的に行い、知識と技術の向上に努める。 ・ヒヤリハットについては気付いて提出出来るよう指導を続ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	内部外部研修に関しては年間計画を立て、全員が参加できるようにできた。 外部研修に参加したものに対してのアウトプットができていなかった。 ひやりはっとの件数が増え意識が向上してきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5 人	7 人	1 人	1 人	13 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5 人	6 人	2 人	0 人	13 人
③	地域連絡会に参加していますか	1 人	5 人	0 人	6 人	13 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3 人	9 人	1 人	0 人	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 内部研修や外部研修など一人一人の経験年数や内容にあった研修が生まれ、参加できている。 ヒヤリハットの提出件数は増えており、リスクマネジメントに対しての意識が変わってきた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 研修参加後の他職員への情報共有ができていない。 内部研修(書面で各自行うもの)については短時間での理解になってしまうため、深い部分での理解ができていない時もある。 ヒヤリハットについて、業務が多忙の時は記入意識が低くなってしまう。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
外部内部研修の年間計画を立て積極的に参加する。 研修内容に関して得た知識を職員間で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 11 月 18 日 (18:00~19:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	10 人	0 人	0 人	13 人

前回の改善計画	・人権に関しての理解度を上げるように学習し、利用者が快適に生活を送れるようにする。 ・認知症の理解を深める事で対応力を上げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修や会議などで人権や認知症に関する学習を行い知識を得るように取り組んだ。 認知症の方の対応に関してはご本人の理解を深めて行く事が足りなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11 人	2 人	0 人	0 人	13 人
②	虐待は行われていない	11 人	2 人	0 人	0 人	13 人
③	プライバシーが守られている	7 人	5 人	1 人	0 人	13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6 人	5 人	1 人	0 人	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	7 人	6 人	0 人	0 人	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
認知症や身体拘束、虐待等の研修に参加し知識を深めることができた。 認知症利用者の方の対応について日々どう対応したらよいかを考え、対応の仕方が良かったことや悪かったことなどを職員間で共有することができた。 身体拘束や虐待は行われておらず、グレーゾーンについても、どのような対応が当てはまるのかを考え、適切な対応ができるようにケアを見直すことができた。 社共の方と連携を取り、金銭の管理や把握をし、生活に支障が出ないよう支援している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
余裕がなくなってしまうと抑制するような言葉がけをしてしまうことがある。 耳の遠い利用者に対して声が大きくなってしまうことがあった。 個人情報の管理では名前が見えるものを隠さずに置いてしまっていることもある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
人権プライバシーに関して研修を継続し、理解度を上げていく。 対人援助に関しては利用者本人の理解を深め、より良い対応を行うようにする。	